



多摩信用金庫

たましんレポート 2015.9 TAMASHIN REPORT

[平成27年4月1日～9月30日]

お客さまとともに「ふるさと多摩」の未来へ

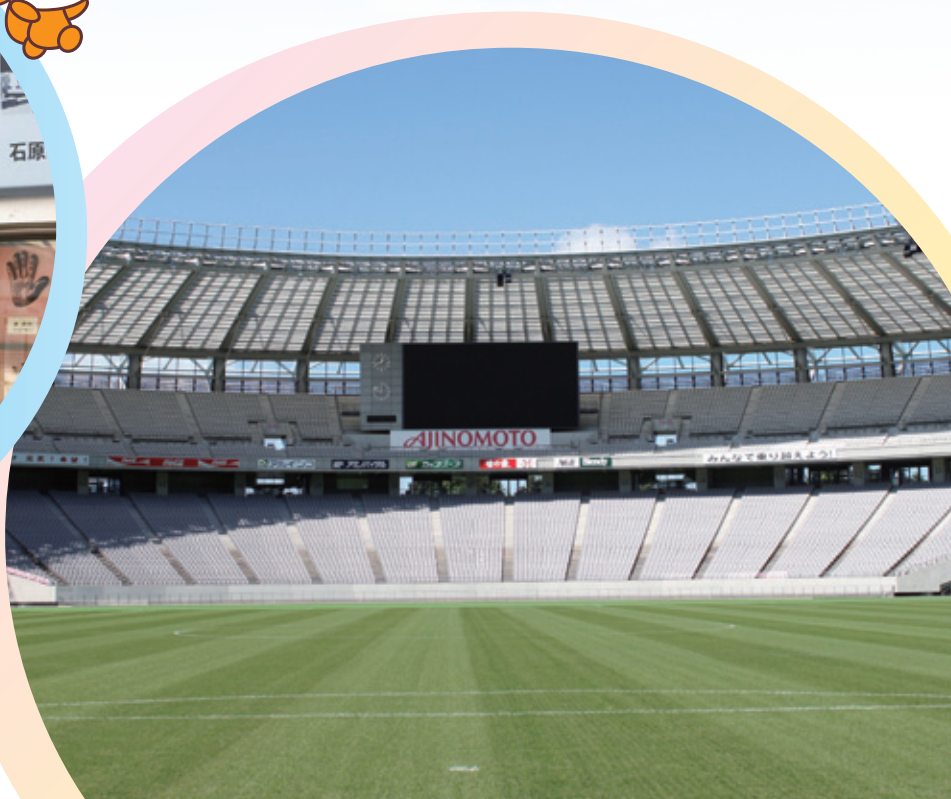
welcome to Chofu



映画のまち調布

映画をつくる・楽しむ・学ぶまち

石原





理事長 **ハ本 敏郎**

お客さまが幸せにくらせる地域社会を創っていくために、地域の課題解決にさらに取り組んでまいります。

平素より、〈たましん〉をご愛顧いただき誠にありがとうございます。平成27年度上半期の活動をご報告する「たましんレポート2015.9月期」を作成しました。たましんの取り組みとその結果をご覧ください、たましんへのご理解を深めていただければ幸いです。

国内景気については、年初は緩やかな回復基調が続いていましたが、中国経済の減速や世界的な株安の進行など金融市場の混乱もあり、全国の中小企業の景況感は足踏み状態が続いています。

多摩地域においても、原材料費などのコスト増や人手不足に伴う人件費の上昇などのマイナス要因を反映し、景況感は同様に足踏み状態が続いていますが、年末に向けては改善傾向を

示すなど、明るい見方も増えています。

このような中、〈たましん〉は、地域の皆さまが安心して事業を営み、豊かにくらせるよう、地域のお客さまの課題を解決する活動に取り組んでまいりました。

企業・事業者のお客さまに対しては、創業支援のプラットフォーム「創業支援センターTAMA」による新たな事業の芽を発見し育成していく活動の支援や、販路拡大・新事業展開

など事業の成長に関わるお手伝いなど、創業・成長・再生・承継のライフサイクルに応じた支援を引き続き行ってまいりました。

平日夕方・土日も営業し、個人のお客さまのくらしの課題解決をお手伝いするコンサルティング専門店「たましんすまいるプラザ」は、平成18年の「たましんすまいるプラザ国立」の誕生からおかげさまで10年目を迎え、現在、多摩地域に8店舗を展開しています。これまでご利用いただいたお客さまに感謝の気持ちをお伝えするとともに、より多くのお客さまに同プラザを知っていただきたく、10周年を記念したセミナーを開催するなど、節目を迎え、より一層個人のお客さまの課題解決の充実を図ってまいります。

また、夏休みや休日を利用した子育て支援のイベントを開催し、くらし全般に関する悩みや課題に

お応えしていく取り組みを積極的に行いました。

地域社会に対しては、地方創生や子育てなど様々なテーマで、多摩地域の自治体とともに勉強会を開催するなど、地域課題の解決に取り組んでまいりました。

このような継続的な課題解決活動の結果として、平成27年度上半期の預金積金残高は増加しました。貸出金残高はわずかに減少となり、お客さまの抱える課題に対する取り組みが、まだ十分ではないと感じています。経営理念である「お客さまの幸せづくり」を実現していくために、課題解決の質・スピードを向上させ、さらに多くの課題解決を行い地域に貢献してまいります。

今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として
協同組織による地域金融機関たる精神に徹し

1. 役職員一致の体制を整え
2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめて地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

多摩信用金庫企業倫理

1. 社会的公器の自覚と信頼の確立
たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立していきます。
2. お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献
たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献していきます。
3. 法令やルールの厳格な遵守
たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行っていきます。
4. 反社会的勢力の排除
たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除していきます。
5. 経営情報の公開と地域社会との調和
たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図っていきます。

たましんプロフィール

平成27年9月末現在

創 立	昭和8年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 平成18年1月10日 合併により多摩信用金庫
純 資 産	1,130億円
出 資 金	232億円
本 店	東京都立川市曙町2丁目8番28号
店 舗 数	本支店……76／出張所……4 店外キャッシュサービスコーナー……59
役職員数	2,300名(パート235名含む)
職 員 数	2,051名(男性1,190名、女性861名)

目次

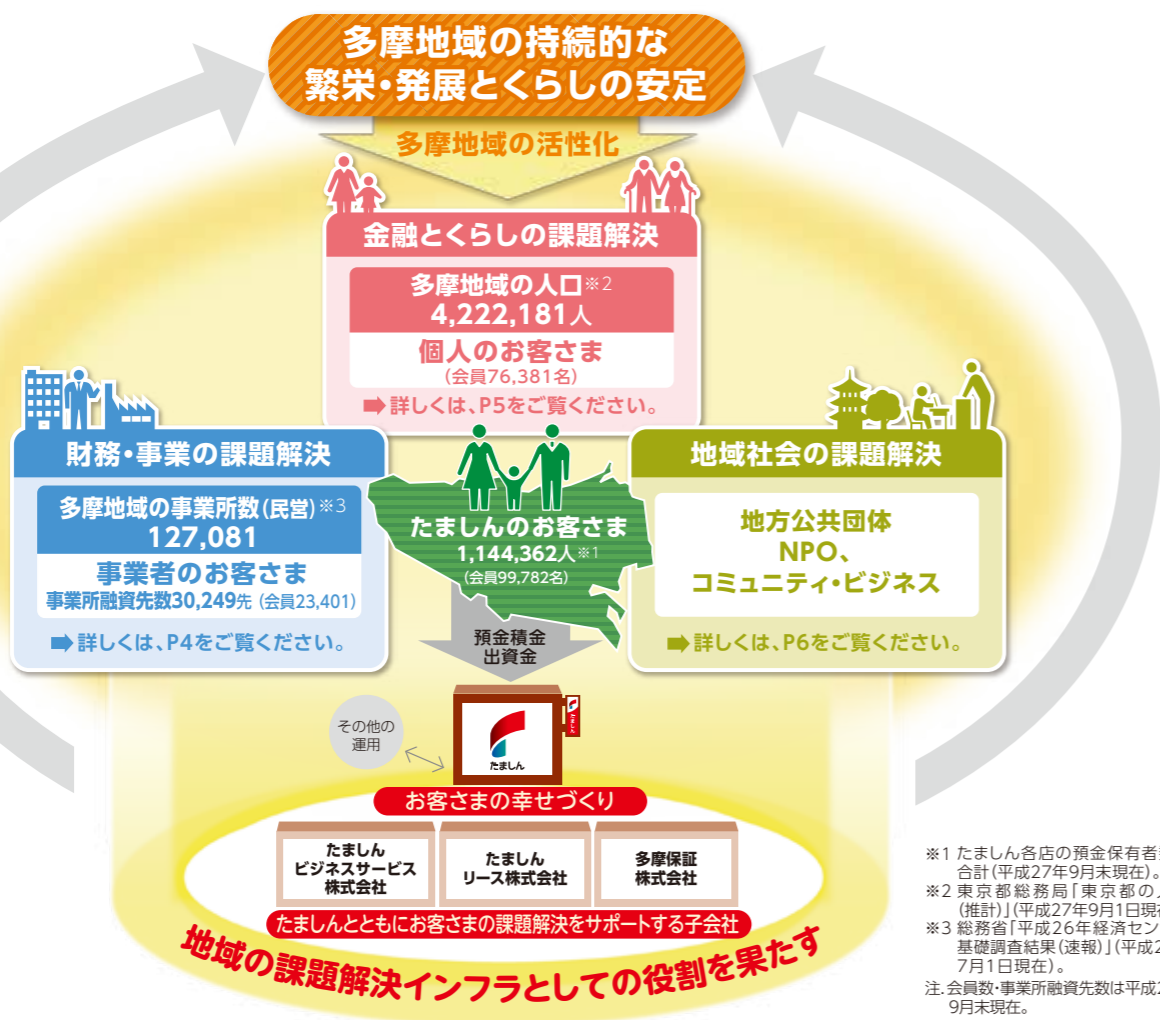
- 理事長からのごあいさつ 1
- 地域金融機関としての役割 3
- たましんの取り組み
 - ・ 企業・事業者へのお手伝い 4
 - ・ 個人の皆さまへのお手伝い 5
 - ・ 地域社会への取り組み 6
- 業績ハイライト
 - ・ 預金・年金振込・預かり資産 7
 - ・ 貸出金・事業所融資先数 8
 - ・ 損益の状況 9
 - ・ 自己資本比率 10
 - ・ 不良債権 11
 - ・ 貸出金業種内訳・有価証券の状況 12
- 多摩にひろがるネットワーク 13

※「たましんの取り組み」については、平成27年7月～9月の主な取り組みを記載しています。

たましんはお客さまとともに、 多摩の明るい未来を創っていきます。

多摩地域で生まれた金融機関だからこそ、できることがあります

地域の皆さまとともに私たちのふるさと多摩を未来にわたって成長・繁栄させていくために、金融サービスはもちろん経済・文化・生活などあらゆる角度から、多摩で活動される企業・事業者、多摩でくらし働く個人の皆さま、多摩の地域社会を総合的・積極的にサポートしています。



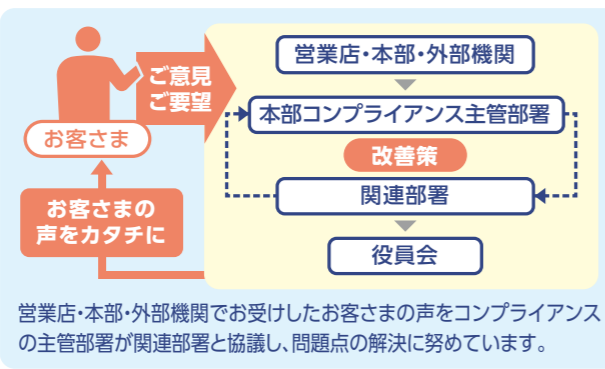
※1 たましん各店の預金保有者数の合計(平成27年9月末現在)。
 ※2 東京都総務局「東京都の人口(推計)」(平成27年9月1日現在)。
 ※3 総務省「平成26年経済センサス基礎調査結果(速報)」(平成26年7月1日現在)。
 注. 会員数・事業所融資先数は平成27年9月末現在。

地域の課題解決インフラとしての役割を果たす

お客さまの声を糧に、よりよいサービスをめざして

お客さまの声を活かすしくみ

たましんにとって、店舗の窓口やお客さま担当が日々接するお客さまの声こそが活動指針です。お客さまによりご満足いただける金融機関をめざして、たましんではこうしたお客さまの声を業務やサービスの充実に役立てています。



さまざまな方法でお客さまの声をいただいています

直接声をお寄せいただく以外にも、ホームページにてご意見やご要望を承っているほか、営業店の店頭にもアンケート用紙をご用意し、アンケートボックスまたは郵送にて受け付けています。



創業・起業

TAMA創業セミナー



セミナーの様子

中 小企業庁による「平成27年度地域創業促進支援事業」の採択を受け、「TAMA創業スクール事業」を実施しています。9月27日、創業を希望する方やスクール受講を検討中の方などを対象に、「TAMA創業セミナー」を開催しました。

創業・起業を支援しています



企業・事業者へのお手伝い

成長・拡大

多摩の物産&輸入品商談会

多 摩地域の食品・雑貨・輸入品を扱う企業のマッチングサイトをWEB上に公開しています。7月1日・2日、大手バイヤーとの個別商談会を開催し、266件の商談が行われました。



個別商談会の様子



マッチングサイト

成長・拡大

介護事業者向けセミナー

7 月31日、介護事業者などを対象に、一般社団法人日本介護事業連合会とともに「介護事業における保険外ビジネスの展開と経営革新」セミナーを開催しました。

成長・拡大

多摩ブルー・グリーン倶楽部

9 月16日、多摩ブルー・グリーン賞の受賞企業を中心とする「多摩ブルー・グリーン倶楽部」の第20回例会では、東京東信用金庫主催の若手経営者の会「ラパン」とのマッチング会を開催しました。



マッチング会の様子

たましんすまいるプラザ10周年記念セミナー



もめない! 困らない! 家族にやさしい相続対策



コンサルティング専門店「たましんすまいるプラザ」がオープンから10周年を迎えるにあたり、「10th Anniversary すまいるセミナー」の第1弾を9月26日に開催し、定員を超える多くのお客さまにご参加いただきました。12月までに、資産運用・相続贈与・健康をテーマとして、立川・八王子・吉祥寺の3会場で合計9回のセミナーを開催します。

夏休み親子自然体験
ひの・は・ら

RISURUは
お子さまたちに
大人気



多摩地域の自然の中で体を動かす機会とコミュニケーションの場として、8月4日から7日までの4日間、「夏休み親子自然体験ひの・は・ら」を開催しました。

たましんと連携協定を締結している日本女子体育大学の学生がサポーターとして参加し、608名の方にお楽しみいただきました。



ツリークライミング



魚のつかみ捕りと川遊び

保険なっ得フェア



保険の見直しをご案内

9月12日、立川私立幼稚園協会主催の「子育て教育フェア」にブース出展し、「保険なっ得フェア」を開催しました。保険や子育て・教育に関する情報提供と相談会のご案内を行いました。

ぬり絵の
コーナーも
設けました



第7回
多摩地域の自治体向け勉強会



会場は子育て支援カフェaona(調布)

9月24日、調布市のNPO法人ちよふ子育てネットワーク・ちょこネットと共催で子育て支援をテーマに勉強会を開催し、11の自治体から21名、子育て支援NPO法人など38名、合計59名の方にご参加いただきました。自治体の職員の方を対象にテーマ別勉強会を企画し、情報交換の機会を設けています。

「たまら・び」発行

地域情報誌「たまら・び」88号が発行されました。まちの特集を「東大和市」として、市民や事業所、NPO、地方公共団体などの地域の皆さまとともに特集ページを作り上げました。まちのさまざまな人が交流を持ち、地域の魅力を語り合える仕組みを導入しています。



「たまら・び」vol.88

88号は
「東大和市」
特集!

明星大学
夏休み科学体験教室

明星大学「夏休み科学体験教室」に参加し、出展企業や団体の紹介に協力しました。当日は約1,000名のお子さまが参加しました。



体験教室
たまご・ひよこをさわってみよう

「お客さまの大切なご預金」を
お守りするために

たましんでは、息子や孫を名乗って現金を詐取する「オレオレ詐欺」や公的機関の職員を装って振込させる「還付金詐欺」などの被害に遭われないよう、ロビー担当者が店頭で「振り込め詐欺にご注意ください!」というタスキをかけて、来店されるお客さまへ呼びかけをしています。また、受付窓口でも積極的に注意を呼びかけ、地元警察とも連携して、犯罪抑止に向けて取り組んでいます。



ATM前にて注意呼びかけ

【預金・年金振込・預かり資産】

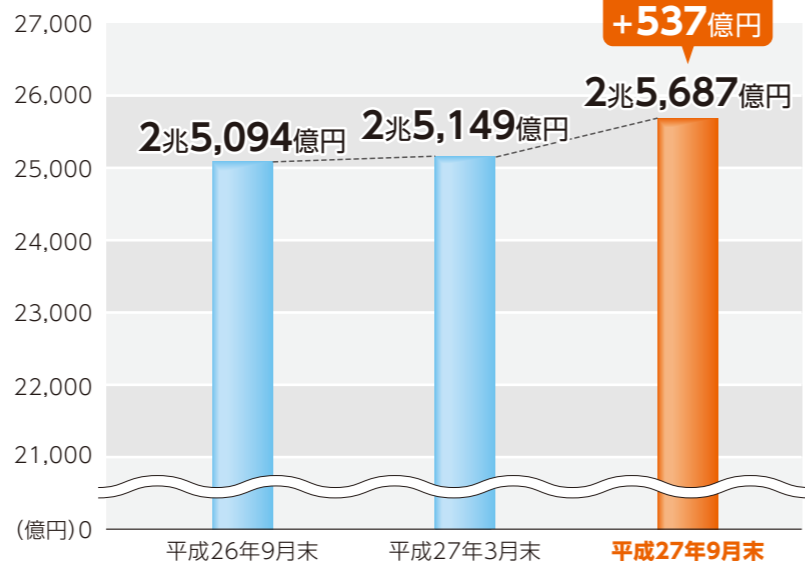
預金・年金振込は増加しました。

預金積金残高は 537億円増加しました。

預金積金残高は、地域の皆さまからのご支持をいただいたことにより、前期より537億円増加し2兆5,687億円となりました。

今後も地域の皆さまの生活に欠かせない地域金融機関として、安心してお取引いただけるサポート体制を築いてまいります。

●預金積金残高の推移

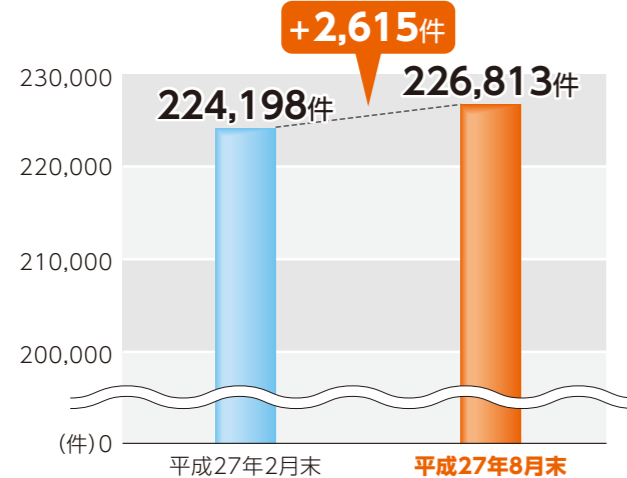


年金振込件数は、 2,615件増加しました。

年金振込件数は、2月対比で2,615件増加しました。

お客さまから、変わらぬご信頼・ご支持をいただいています。

●年金振込件数の比較

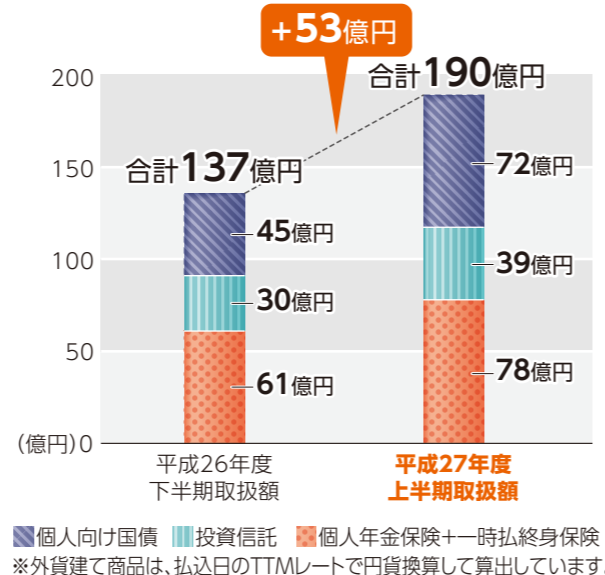


※基金を除く振込実績。

預かり資産取扱額は、 53億円増加しました。

預かり資産のお取り扱い額は増加しました。ご提案にあたっては、金融商品取引法等の法令等を遵守し、お客さまの状況にあわせて適切な説明を心がけています。

●預かり資産取扱額の比較



※外貨建て商品は、払込日のTTMLレートで円貨換算して算出しています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

【貸出金・事業所融資先数】

貸出金・事業所融資先数はやや減少しました。

貸出金残高は 49億円減少し、 事業所融資先数は 83先の減少となりました。

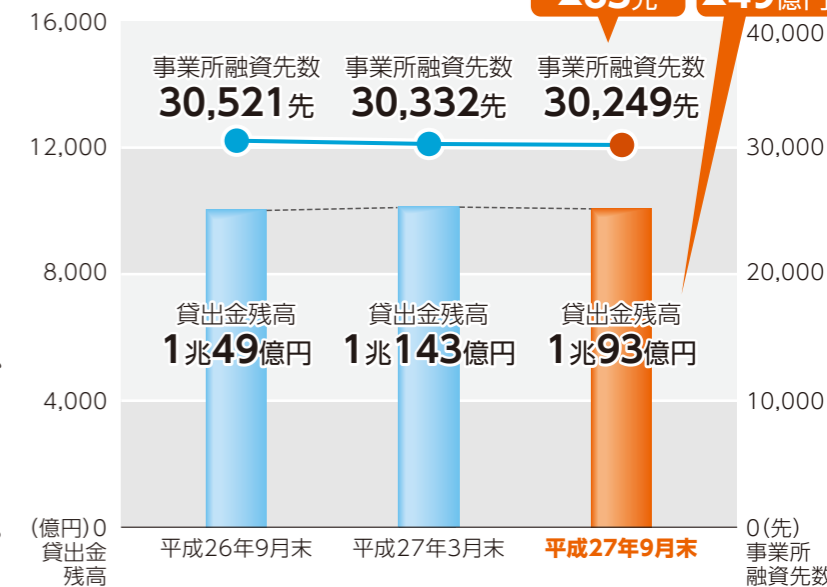
貸出金残高は、地域の皆さまが抱える課題の解決に積極的に取り組んだものの、49億円減少し、1兆93億円となりました。

事業性のご融資は27億円減少し、個人のお客さまへのご融資は21億円の減少となりました。

融資をご利用いただいている事業所のお客さまの数は30,249先となりました。

今後は、より多くのお客さまの悩みや課題に応えられるよう、より一層行動力を増して取り組んでまいります。

●貸出金残高、 事業所融資先数の推移



※個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。
※先数には、総合口座貸越のみのお客さまは含まれておりません。
※たましんレポート2013までの算出方法とは異なります。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

《金融円滑化の対応について》

たましんは経営理念を具現化するため、地域のお客さまの悩みや課題を共有し、お客さまとともに課題解決に取り組み、金融の円滑化を図っています。

企業・事業者のお客さまには、経営相談・事業支援および事業再生に取り組み、個人のお客さまにはライフサイクル、ライフプランに応じた総合的サポートを提供しています。

これからも、お客さまの課題解決に取り組み、地域の発展に寄与するため、一層の金融の円滑化に向けて取り組んでまいります。

※「金融円滑化のための基本方針」・「金融の円滑化を図るための方針の概要」・「貸付条件の変更等の状況」等については、たましんホームページに掲載しています。

【損益の状況】

業務純益は28億円、経常利益は41億円、 当期純利益は28億円となりました。

収益をさらなる地域貢献へ

金利の低下により貸出金利息や預け金利息が減少したことを主な要因とし、業務純益は前年同期比3億円減少の28億円となりました。一方、金庫本来の事業活動からの利益であるコア業務純益は前年同期比1億円増加の28億円となりました。

また、経常利益は臨時収益の増加と臨時費用の減少などにより前年同期比6億円増加の41億円、当期純利益は前年同期比6億円増加の28億円となり、引き続き安定した収益を確保することができました。

●損益の状況

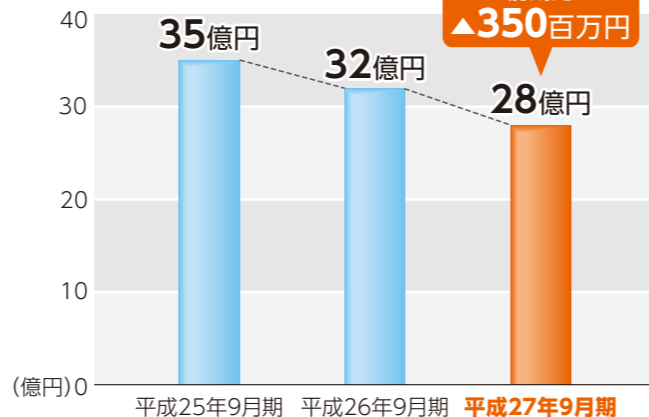
(単位:百万円)

科目	平成26年 9月期	平成27年 9月期
業務粗利益	17,610	17,097
うち資金利益	16,395	16,250
うち役員取引等利益	1,011	1,072
うちその他業務利益	203	△ 225
一般貸倒引当金繰入額	△ 388	-
経費	14,798	14,247
業務純益	3,200	2,850
コア業務純益	2,656	2,823
臨時損益	301	1,280
うち貸倒引当金戻入益	-	337
うち個別貸倒引当金繰入額	798	-
経常利益	3,499	4,127
当期純利益	2,202	2,838

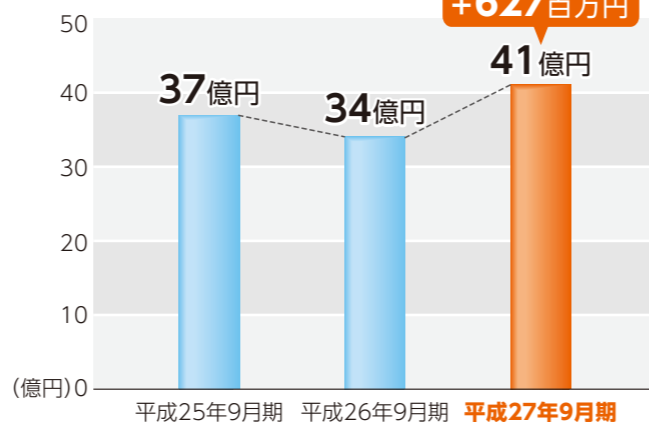
※平成27年9月期は、一般貸倒引当金繰入額△470百万円と個別貸倒引当金繰入額133百万円の合計が337百万円の戻入超過となったため、臨時収益に「貸倒引当金戻入益」として計上しております。

- 業務純益とは
金融機関固有の利益指標で、基本的な業務の成果を示します。
業務粗利益から業務遂行に必要とされる費用である経費(除く臨時的経費)および一般貸倒引当金繰入額を除いたもので、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。
- コア業務純益とは
業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益で算出され、金庫本来の事業活動での利益を把握するものです。

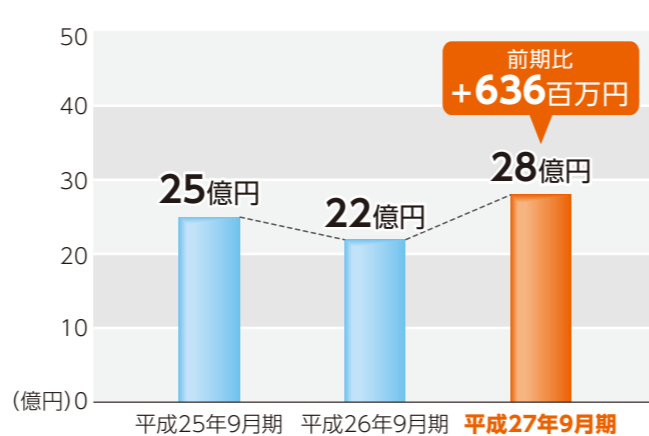
●業務純益の推移



●経常利益の推移



●当期純利益の推移



※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

【自己資本比率】

自己資本比率は8.77%となりました。

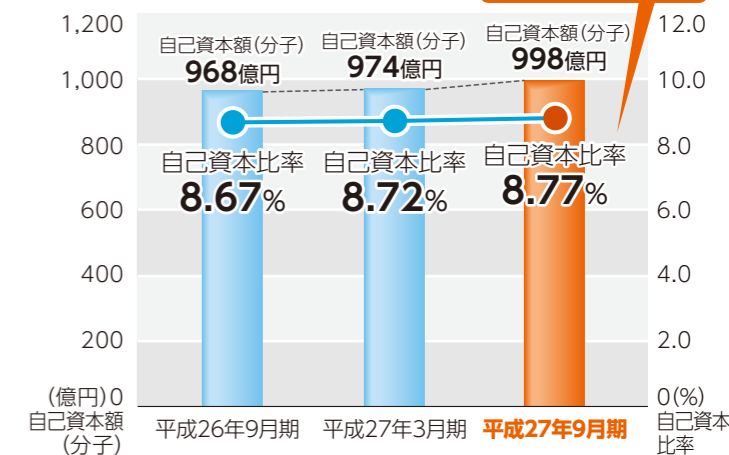
経営の健全性は確保されています。

平成27年9月期の自己資本比率については、「リスク・アセット等の額の合計額」(分母)は前期比197億円増加の1兆1,372億円となりました。

一方、「自己資本の額」(分子)は当期純利益の内部留保等により前期比23億円増加の998億円となり、自己資本比率は前期比0.05ポイント上昇の8.77%となりました。

たましんの自己資本比率に対する考え方は高さだけを求めるのではなく、地域で果たす役割を第一に考えており、お客さまへ貢献した結果として得られる適正な利益の内部留保を着実に蓄積していくことで、経営の健全性向上を目指しています。

●自己資本比率の推移



$$\frac{\text{自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額 - コア資本に係る調整項目の額)}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額} + \text{オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8\%で除して得た額}}$$

●自己資本の額の内訳

(単位:百万円)

項目	平成27年 3月期	経過措置に よる不算入額	平成27年 9月期	経過措置に よる不算入額
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	97,822	-	100,136	-
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	94,177	-	96,971	-
うち、出資金及び資本剰余金の額	24,116	-	24,053	-
うち、利益剰余金の額	70,782	-	72,917	-
うち、外部流出予定額(△)	719	-	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	△ 1	-	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,808	-	1,337	-
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,808	-	1,337	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,836	-	1,827	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	328	-	301	-
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く)の額の合計額	246	986	220	882
前払年金費用の額	82	328	80	323
自己資本の額((イ)-(ロ))	97,493	-	99,835	-

●信用リスク・アセット等および所要自己資本の額

(単位:百万円)

項目	平成27年3月期		平成27年9月期		所要自己資本の額
	資産の額等	リスク・アセット等	資産の額等	リスク・アセット等	
信用リスク・アセット等の額の合計 (イ)	2,947,705	1,051,201	3,053,626	1,070,926	42,837
資産(オン・バランス項目)	2,774,532	1,029,954	2,701,675	1,046,689	41,867
現金	22,836	-	30,938	-	-
政府・中央銀行向け等	762,442	25,189	694,288	24,543	981
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	793,658	180,941	770,103	183,025	7,321
法人等向け	403,680	299,197	409,441	304,182	12,167
中小企業等向け及び個人向け	325,529	228,447	327,283	229,948	9,197
抵当権付住宅ローン	77,954	26,595	76,796	26,178	1,047
その他	388,428	269,582	392,824	278,810	11,152
オフ・バランス取引等項目	172,989	20,955	351,729	23,170	926
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	-	289	-	1,062	42
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	182	2	221	3	0
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額 (ロ)	-	66,333	-	66,333	2,653
リスク・アセット等の額の合計額((イ)+(ロ))	2,947,705	1,117,534	3,053,626	1,137,259	45,490

※所要自己資本の額=リスク・アセット等×4%

	平成27年3月期	平成27年9月期
自己資本比率	8.72%	8.77%

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

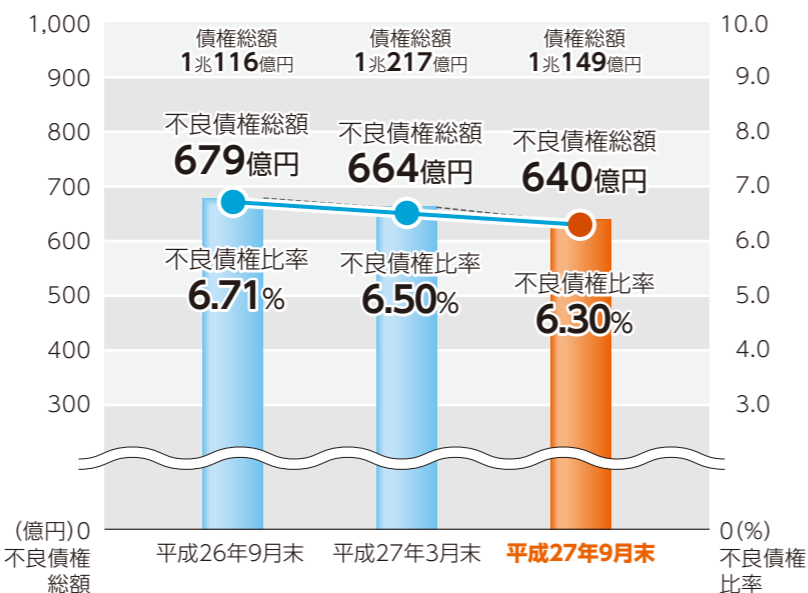
【不良債権】

不良債権比率は6.30%です。

金融再生法開示債権のうち 正常債権を除く開示額は、 640億円となりました。

前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することが、たましんの目指す不良債権への取り組みです。その取り組みの効果が表れ、お客さまの業況も徐々に改善方向にあります。その結果、金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は平成27年3月末より減少し640億円となり、不良債権比率は0.2ポイント低下し6.30%になりました。今後もお客さまのさらなる課題解決・業況改善のため、金融面・非金融面の幅広い支援を積極的に行ってまいります。

●不良債権の推移 (金融再生法における開示債権)

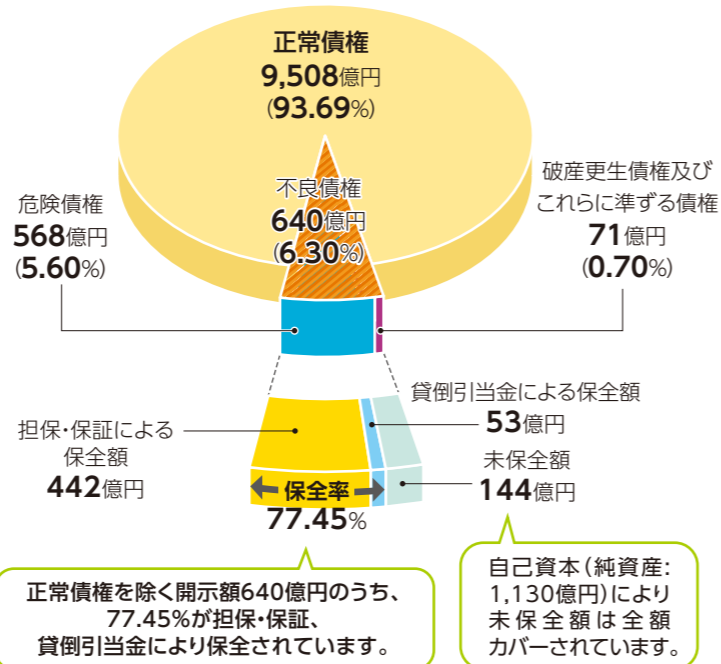


不良債権は、しっかりと 保全されています。

正常債権を除く開示額640億円のうち、77.45%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの22.54%にあたる144億円は、自己資本(純資産1,130億円)により、全額カバーされています。

- ※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、当金庫が保証する私募債を対象としています。
- ※債権残高は、倒産・延滞や決算期の到来等の事象の発生の都度、実施された自己査定結果に基づいています。
- ※自己査定で無価値または回収不能と判断された債権については部分直接償却予定額として、平成27年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から4億円を控除しています。
- ※要管理債権はありません。

●金融再生法開示債権の区分別割合と、
同債権に対する保全状況



【貸出金業種内訳・有価証券の状況】

ご融資や資金運用のリスク管理について。

たましんのご融資は、幅広く、小口多数。

たましんは、特定の業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、多くのお客さまの課題を共有し、共に解決していくことで、地域で事業を営む方や地域で生活している方を支援するという、たましんの基本方針に基づいています。

●貸出金業種別残高内訳

(単位:百万円)

業種区分	平成26年9月末		平成27年9月末		業種区分	平成26年9月末		平成27年9月末	
	残高	構成比(%)	残高	構成比(%)		残高	構成比(%)	残高	構成比(%)
製造業	98,444	9.7	99,658	9.8	物品賃貸業	2,080	0.2	1,893	0.1
農業、林業	587	0.0	533	0.0	学術研究、専門・技術サービス業	10,264	1.0	9,727	0.9
漁業	0	0.0	0	0.0	宿泊業	950	0.0	1,026	0.1
鉱業、採石業、砂利採取業	154	0.0	126	0.0	飲食業	20,368	2.0	19,876	1.9
建設業	97,264	9.6	94,688	9.3	生活関連サービス業、娯楽業	12,613	1.2	11,865	1.1
電気・ガス・熱供給・水道業	713	0.0	1,005	0.0	教育、学習支援業	6,161	0.6	6,021	0.5
情報通信業	5,770	0.5	7,900	0.7	医療・福祉	36,069	3.5	37,287	3.6
運輸業、郵便業	14,673	1.4	14,948	1.4	その他のサービス	63,075	6.2	64,488	6.3
卸売業、小売業	91,360	9.0	91,371	9.0	地方公共団体	23,315	2.3	23,068	2.2
金融業、保険業	7,608	0.7	7,615	0.7	個人*	232,425	23.1	229,064	22.6
不動産業	281,069	27.9	287,214	28.4	合計	1,004,972	100.0	1,009,383	100.0
不動産売買業	29,757	2.9	30,060	2.9					
不動産賃貸・管理業	240,373	23.9	240,709	23.8					
不動産流動化等を目的とするSPC	—	—	—	—					
不動産関連地方公社等	10,938	1.0	16,444	1.6					

*住宅資金・消費資金等の貸出金は、個人に集計しています。

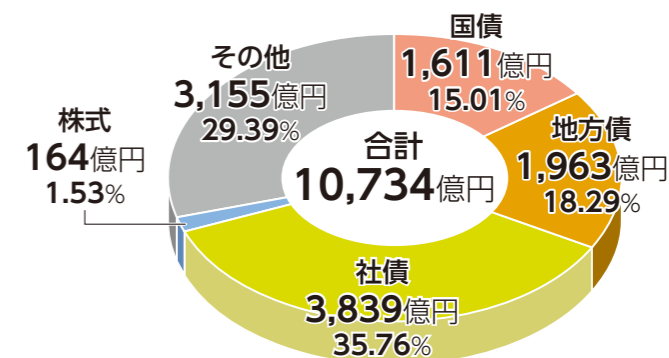
資金運用については、 各種リスク管理を行ったうえで 国内外の債券を中心に安定した 運用を心がけています。

国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築しています。

国内金利が低水準で推移したことなどから、保有有価証券の評価益は230億円になりました。

- ※有価証券の種類別残高は期末日における取得原価等であり、貸借対照表計上額と異なります。
- ※有価証券の評価差額は、期末日における取得原価等と時価等の差額です。
- ※右記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

●有価証券の種類別残高内訳 (平成27年9月末現在)



●有価証券の評価差額の推移

(単位:億円)

		平成26年9月末	平成27年9月末		増減
		評価差額	取得原価等	時価等	
有価証券	株式	61	164	235	71
	債券	111	7,414	7,532	118
	その他	46	3,155	3,196	40
合計		219	10,734	10,964	230

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

たましんレポート
2015年9月期
[仮決算のご報告]
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
<http://www.tamashin.jp>

お問い合わせ

お客さま照会センター

■本誌に関する

お問い合わせ、ご意見は

☎0120-187-329

■出資、会員に関する

お問い合わせは

☎0120-077-441

たましんホームページでもご意見、お問い合わせを承っております。
本誌についてのアンケートはたましんホームページから「たましん
レポート」でご検索ください。多くの皆さまからのご意見・ご感想を
お待ちしております。

※RISURUはたましんのイメージキャラクターです。

RISURU ©2003, 2015 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G562407



お客さまの幸せづくり

たましん

発行:平成27年11月